



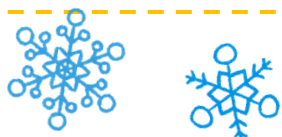
かどましりつとしょかんだより

2024年 2月 第40号

ことは「だんとう」今年「暖冬」だといわれていますが、やはり冬は寒いものですね。来月にはとうとう6年生が卒業式を迎え、さみしくなりますが、4月には新1年生の入学式が待っています。また、にぎやかになるでしょう。寒い冬とバレンタインの季節にぴったりの本を紹介します。

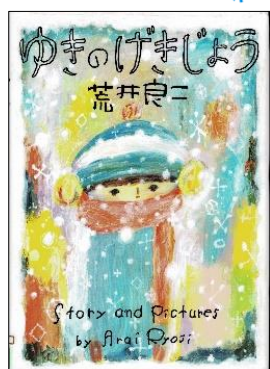


おすすめのほん



「ゆきのげきじょう」

荒井良二／作 小学館



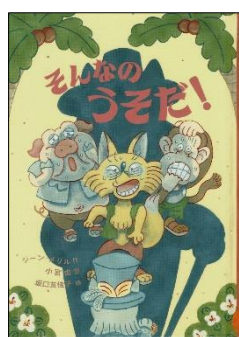
えほん

とうさんの大事な大事なちやうのずかんをやぶいてしまった男の子は、スキーをはいて1人でかけました。くぼみに落ちてしまい、そこであかりのついた小さなげきじょうを見つけました。雪のげきじょうにまねかれた男の子はすばらしい舞台を目のあたりにします。しずかな、そして心があたたかくなる物語です。



「そんなのうそだ！」

ジーン・メルル／作 小宮由／訳 岩波書店



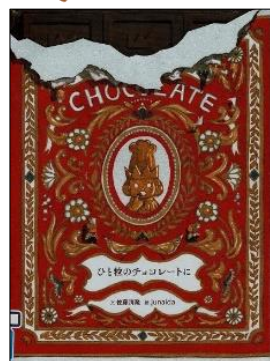
やさしいよみもの

なまけ者のサルとブタとキツネは、旅のお客にほらばなしを聞かせては、ココナッツジュースや食事をごちそうになって暮らしていました。ある日、スポーツカーにのり、ごうかな服を着たイヌがあらわれ、3匹はその服をうばいにとってやろうと「そんなのウソだ！」と言わせる勝負をもちかけます。さあ、勝ったのはだれか！



「ひと粒のチョコレートに」

佐藤清隆／文 junaida／絵



やさしいよみもの

冷やすと固いの、口の中に入れるととろけるチョコレート。そのまろやかなくちどけは、原材料となるカカオの油のふしぎな性質によるものです。薬として親しまれ、やがてあまくておいしいおかしに変化していったチョコレートの歴史と、1年以上にわたる人々の工夫をふりかえります。



「ティリー・ページズと魔法の図書館」

アナ・ジェームス／作 池本尚美／訳 文響社



よみもの

ティリーは、本屋のおじいちゃんとおばあちゃんと3人で暮らしている女の子。本を読むのが好きで、学校にはあまりなじめないと感じています。ある日、本から「赤毛のアン」が出てきたことで、本の中に入れるふしぎな魔法を見つけ、本の登場人物たちといっしょに冒険の旅へ出かけることに。昨年10月には2巻も発行されました。



としょかんからのお知らせ



えほんのひろば



本の森の小さな音楽会

「メリー・ウィドウ・ワルツ」ほか

本館 2/18(日) 午後5時15分～6時



春のおはなし会 おはなしの広場スペシャル

「たぬきのにゅうがくしき」ほか

本館 3/23(土) 11時～11時45分



春の手づくり遊びの会

工作「ぴよんぴよんうさぎ」

市民プラザ分館 3/23(土) 午後2時～3時30分

※参加したい人は、3/1(金)以降に分館に

申しこみに来てね

1月は二島小学校、北巣本小学校で

えほんのひろばを開催しました。

2月は四宮小学校におじゃまする

予定です。いっしょにお気に入りの

1冊を見つけましょう！

新学期、またみなさんにお会いできるのを

楽しみにしています。

「えほんのひろば」では

300さつのえほんやしやしんしゅうを

ずらりとならべ、おともだちやせんせいと

じゅうにほんをよむことができます



次号は4月上旬に発行予定

